

平成14年度

日本FJ協会理事会議事録

日時 平成14年12月22日(日)13:00~17:00
場所 横浜新都市ビル「市民フロア」ミーティングルーム No. 2

出席者(敬称略)

会長 澄田秀夫

理事長 渋谷有人

理事 齊藤友一 砂金紀 国府田由隆 盛谷静之 斎藤和久

富田博司 大庭秀夫 内田伸一

計測員 大西義則 池田和男 加藤祐一郎 計13名

議事録

挨拶、黙禱 会議に先立って角田先生に対して黙禱をささげる。
渋谷理事長に進行をお願いし、理事会は定刻通り開始した。

- 報告事項 1. 澄田会長より経過報告があった。
- ・角田先生逝去から関係者への連絡。その後の対応と現在までの経緯について。
角田先生の担当していた業務は、ひとまず澄田会長がまとめて、整理した。各理事の役職については現在のとおりとする。
計測関連は、当分の間チーフメジャーを渋谷理事長が兼任する。
 - ・艇番号1から1560番台までの計測データが完全に保管されていた。尚ISAFに対し、さらに35艇分の登録を確保してある。
 - ・会計に関しては14年中間までを澄田会長がまとめ、その後内田理事が引き継ぐ。
 - ・会計に関連する通帳と領収書等の書類については、全て揃っていた。
2. 資金運用に関して、国府田理事より質問があった。
- ・資金運用に関しては、証券等は残っていないので全て清算済みだと思われる、澄田先生より回答があった。尚、唯一残っていた住宅金融公庫の証券に関しては早急に清算することを確認した。
3. 澄田会長より13年度、14年度中間の会計報告があり承認された。
内田理事より14年度事務局分の会計報告があり承認された。

- 審議事項
1. 計測委員会を設置する。

委員は、チーフメジャー（渋谷）、理事（大庭、斉藤友一、富田）計測員（大西、池田、加藤）で構成する。

池田、加藤計測員は辻堂加工を担当する。

大西計測員は奥村ボート、村井ヨットを担当する。
 2. 協会運営について
 - ・理事会の機能を充実させる
 - ・理事の業務分担は変更なし（全日本担当は古屋理事）だが、様々な決定すべき事項については、理事会に諮ること。
 3. クラスルールの変更について、斉藤和久先生から説明があった。
 - ・IFJOとしては、ISAFと最終的な調整に入っており、特に問題がなければ現在公表されている内容でクラスルールは変更される予定である事が説明された。決定のメドとしては年明け早々とのこと。
 - ・日本FJ協会の対応

4月1日からクラスルールを変更する。但し、協会として適用時期について、猶予期間を設ける方針とする。

（具体的には、15年度のインターハイ、国体に関しては旧ルールで行う事を推奨する。）

新ルール適用後も旧ルールとの併用期間を3年間は設ける事が確認された。
 - ・デジタルコンパスについて、価格面では従来の製品と変わらなくなってきているが、機能面では純粋なコンパスとは言えないものも出てきているので、さらに検討する必要があるとのこと。
 4. IFJOに対して、一つの高校あたり5ドル換算で会費を支払う事が説明された。その中で、現在の準会員登録の問題も含め財政の安定化を求める意見が挙げられた。
 - ・準会員登録等の送金方法について、手数料の関係から郵便局に口座を開設することが確認された。
 - ・セールへのロイヤリティタグの導入を求める意見があった。
 5. 会員への情報提供のために協会のホームページを開設する必要があり、製作を澄田先生が担当していただけることになった。また理事間の連絡にメールを積極的に活用すべきとの意見があった。
 6. 大西先生より公認艇のプレート製作の報告と説明があった。

再発行については、プレート1枚200円とする。

- 7 . 計測員の資格について、レベル分けと更新が必要だという意見が出された。

- 8 . 15年度以降の全日本選手権について、岡山、千葉、富山の順で開催を依頼する方針であることが確認された。また、全日本選手権には協会から役員を派遣することが確認された。
次回理事会を3月に行う案が出たが保留となった。 以上